

平成26年度計画

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

1 診療計画及び診療に関する重点事項等

(1) 診療計画

①日本海総合病院

- ・地域医療支援病院として、安全で高度かつ専門的な急性期医療を提供する。
- ・他の医療機関と連携して、住民が安心できる地域の医療提供体制を構築する。
- ・庄内地域で唯一の救命救急センターとして、高度な救急医療を提供する。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、充実したがん治療を提供する。
- ・災害拠点病院として、被災地域の患者の受入れ、及び医療スタッフの派遣等の医療救護活動を行う。
- ・へき地医療拠点病院として、へき地の住民に対する医療提供及びその支援等へき地医療活動を行う。
- ・エイズ治療拠点病院として、総合的かつ高度なエイズ治療を提供する。

②酒田医療センター

- ・療養及び回復期3病棟体制とし、地域のニーズに応じた医療を提供する。
- ・回復期リハビリテーションの一層の充実に取り組む。
- ・通所リハビリテーションの充実を図り、患者のQOL維持・向上に寄与する。

(2) 診療に関する重点事項

①診療体制の整備

a) 救急医療(日本海総合病院)

- ・救命救急センターの充実を図るため、救急科専門医を育成する。
- ・酒田地区広域行政組合の酒田救急ワークステーションとの連携強化を図り、ドクターカーの配備について継続して検討を行う。
- ・一般社団法人酒田地区医師会十全堂（以下、「酒田地区医師会」という。）の協力を得て、平日夜間の成人・小児に対する診療体制を、酒田市の財政支援のもと維持する。

関連指標（平成24年度実績：患者数）

	小児科	その他
平成24年度	743人	1,715人

b) がん医療(日本海総合病院)

- ・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実
- ・PET/CTによるがん治療の強化、早期発見のための検診を拡充する。
- ・手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療の実施

関連指標（平成24年度実績：実施件数）

	手術	放射線治療	外来化学療法
平成24年度	1,123件	7,793件	3,092件

- ・緩和ケア医療の充実
- ・緩和ケア病棟について、要件等の確認及び検討を行う。

関連指標（平成24年度実績：実施件数・患者数）

	病棟回診	緩和ケア外来
平成24年度	367件	105人

- ・セカンドオピニオン外来の充実

関連指標（平成24年度実績：実施件数）

	セカンド オピニオン外来
平成24年度	4件

- ・がん登録機能、相談支援体制の充実

関連指標（平成24年度実績：実施件数）

	院内がん登録	地域がん登録	がん相談
平成24年度	1,684件	1,653件	818件

c) 脳卒中・急性心筋梗塞

- ・救命救急センターと関係する各診療科、リハビリテーション部門との連携強化を図り、患者の社会復帰に寄与する。
- ・CT、MRI検査の24時間対応の継続

関連指標（平成24年度実績：脳梗塞、くも膜下出血、脳動脈瘤、脳内出血での実施件数）

	CT	MRI
平成24年度	1,015件	819件

関連指標（平成24年度実績：心筋梗塞、狭心症での実施件数）

	CT	MRI
平成24年度	255件	40件

- ・日本海総合病院における急性期リハビリテーションの充実及び酒田医療センターにおける回復期リハビリテーションとの連携強化を図る。
- ・日本海総合病院において、心大血管リハビリテーションを土曜日も実施する。

d) 糖尿病(日本海総合病院)

- ・チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた集中的治療の充実を図る。

関連指標（平成24年度実績：実施件数）

	教育入院	個別栄養指導		糖尿病透析予 防指導管理料
		入院	外来	
平成24年度	83件	239件	336件	3件

e) 回復期リハビリテーション(酒田医療センター)

- ・回復期リハビリテーションの充実のため、理学療法士等を増員する。
- ・ドライブシステムを活用し、社会復帰に必要な動作の評価・測定を行い、より効果的なリハビリテーションを行う。
- ・通所リハビリテーションを引き続き行う。

f) 在宅医療支援及び療養支援

- ・地域の介護機関、福祉機関、医療機関との連携を強化するため、相談窓口機能の充実を図る。

関連指標（平成24年度実績：実施件数）

	退院調整	
	日本海総合病院	酒田医療センター
平成24年度	1, 906件	289件

- ・急性増悪による入院の受入れなど、在宅患者及び介護・福祉機関の患者に対してかかりつけ医と連携して医療支援を行う。
- ・酒田地区医師会訪問看護ステーション「スワン」との連携の強化を図る。

g) 病棟再編

- ・地域の医療ニーズ及び医療提供体制の変化に伴い、日本海総合病院において病棟再編を実施する。

h) その他

- ・日本海総合病院において、入院患者の食事メニューの充実を図る。
- ・両病院間の患者移動のため、「げんき号」を効率的に運行する。

②災害時や健康危機における医療協力（日本海総合病院）

- ・災害発生時には、災害拠点病院として患者を受け入れるとともに、県の要請に基づき、又は自ら必要と認めたときは、DMAT（災害派遣医療チーム）等、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行う。
- ・地域が被災した場合に備え、酒田市が実施する「酒田市総合防災訓練」に参加する。
- ・航空機事故に備え、山形県が実施する「庄内空港消火救難訓練」に参加する。
- ・山形県が実施する、庄内空港をSCU（広域搬送拠点）としての機能整備において、医療機器の保管管理及び医療救護活動等について協力を行うとともに、補助金を活用して「DMATカー」を導入する。
- ・地域の医療従事者を対象とした災害医療研修を実施する。
- ・小型非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水などを備蓄する。
- ・非常用発電機の燃料や医薬品等の優先納入体制を維持する。
- ・新型インフルエンザをはじめ新たな感染症が発生したときは、山形県と連携して対応する。

③政策医療の実施（日本海総合病院）

- ・ 第二種感染症指定医療機関として、速やかな感染症患者の受け入れのためのマニュアルの見直しを定期的に行う。
- ・ 認知症疾患医療センターを運営し、認知症疾患患者の専門医療相談、鑑別診断等について継続して実施していく。
- ・ 臓器移植について、提供施設として訓練を行う。
- ・ 小児医療について、第6次山形県保健医療計画に基づき、一般小児医療から小児専門医療まで、及び初期小児救急から入院を要する小児救急を行う「地域小児医療センター」としての役割を果たしていく。
- ・ 周産期医療について、第6次山形県保健医療計画に基づき、周産期に係る比較的高度な「二次周産期医療」を行う。

④医療スタッフの確保及び資質向上

a) 医療人材の確保・育成

- ・ 山形大学との臨床実習協定によりチュードレントドクターを受け入れ、医学生の教育及び医師育成の一翼を担う。
- ・ 臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医をいう。)の受け入れ拡大に努め、教育研修体制の充実を図る。
- ・ 地方独立行政法人那覇市立病院に、日本海総合病院から2年次目の臨床研修医8名を出向させ、交換地域医療研修を実施する。
- ・ 医師以外の医療スタッフを育成するため、専門学校等の要請に基づき実習生を受け入れる。
- ・ 医師以外の医療スタッフについて、各種研修会及び学会等に参加し、専門的知識と技術の習得に努める。
- ・ 認定看護師の資格を取得するため、看護師を研修に派遣する。
- ・ 災害支援ナース及びDMA T隊員の育成を図る。
- ・ 多職種が協働し、効率的に良質な医療サービスを提供するため、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、人工呼吸サポートチーム、院内感染対策チーム及び褥瘡対策チームによる「チーム医療」を推進する。
- ・ 看護学生等の申請により修学資金を貸与し、優秀な看護師又は助産師の育成に寄与する。

b) 事務職員の確保と専門性の向上

- ・ 政策研究大学院大学に事務職員1名を派遣し、医療政策に通じた人材の育成を図る。
- ・ 他病院との合同研修会及び交流を通して、人材育成と専門性の向上を図る。
- ・ 医師事務作業補助者の資質向上を図る。

⑤医療サービスの効果的な提供

a) 地域連携の推進

- ・ 日本海総合病院は、庄内地域の中核的な医療機関及び地域医療支援病院としての役割を果たし、紹介率60%以上、逆紹介率30%以上を目標とし、他の医療機関との役割分担及び連携の強化を図る。

関連指標（「地域医療支援病院」指定申請時、平成 24 年度実績）

	紹介率	逆紹介率
平成24年度	61.5%	45.2%

- ・地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関との積極的な情報交換や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へとシームレスなサービスの提供に努める。

関連指標（平成 24 年度実績）

	退院時共同指導		介護支援連携指導	
	日本海総合病院	酒田医療センター	日本海総合病院	酒田医療センター
平成24年度	57件	0件	660件	38件

b) ITネットワークの活用（「ちようかいネット」の活用推進）

- ・平成 23 年度から稼働している「ちようかいネット」について、利用医療機関等の拡大を図る。

関連指標（平成 24 年度実績）

	登録施設数	登録患者数
平成24年度	92施設	6,669件

c) 地域連携クリティカルパスの活用

- ・大腿骨頸部骨折、5大がん、脳卒中の地域連携クリティカルパスの適用件数増加を図る。

関連指標（平成 24 年度実績）

	CHS	肺がん	大腸がん	肝がん	乳がん	胃がん
平成24年度	105件	0件	13件	0件	24件	9件

- ・急性心筋梗塞及び糖尿病パスの導入について、継続して検討を行う。
- ・「前立腺がんパス」の導入を検討する。
- ・「認知症ケアパス」について、関係機関と共同で導入にむけて検討を行う。

⑥庄内地域における医療水準の向上

- ・庄内地域の他の医療機関と交流を行い、連携強化を図る。
- ・平成 23 年度から日本海総合病院内に開設された山形大学医学部先端分子疫学研究 所酒田分室について、継続して調査活動に協力する。
- ・日本海総合病院は、酒田市立看護専門学校の実習施設としての役割を担う。
- ・酒田市立看護専門学校の看護教員を育成する。
- ・地域の医療・介護従事者を含めた、各種研修会等を開催する。

⑦住民の意識の啓発

- ・地域住民を対象としたセミナー、病院広報紙などの発行を積極的に行い、住民の医療や健康に対する意識の啓発に努める。
- ・他の機関が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等への講師派遣についても積極的に行う。

(3) 患者・住民サービスの一層の向上

- ・日本海総合病院において、外来診療の待ち時間対策を検討する。
- ・患者、利用者の意見・要望等を聞く投書箱を常設し、一層のサービス向上と業務改善に取組み、患者または住民本位のサービスの提供に努める。
- ・ホームページの充実による病院情報の発信力の強化を図る。
- ・日本海総合病院において、一部の外来診察室ドアを引戸へ改修し、及び待合ホールの床を補修する。また、計画的に病室の天井、内壁、床の改修を行う。
- ・平成20年度から実施した重症心身障がい児（者）短期入所事業について、日本海総合病院の空床を利用したレスパイト入院を継続して実施する。

関連指標（平成24年度実績：延べ利用者数）

	ショートステイ
平成24年度	28人

- ・酒田市からの受託事業である病児・病後児保育事業を、日本海総合病院院内保育所「あきほ保育園」（以下、「あきほ保育園」という。）において継続して行う。
- ・親しみと信頼のある地域密着型の病院づくりをめざし、地域交流事業として病院祭「あきほ祭り」及び即売施設「あきほ市」を開催する。

(4) 法令等の遵守と情報公開の推進

- ・基本理念、倫理綱領及び病院運営方針の周知を図る。
- ・医療情報のセキュリティ向上のため職員、委託職員を対象に院内研修を実施する。また、「ちようかいネット」を利用している医療機関等に対しても研修を実施する。
- ・インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ・レセプト等医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて行う。

関連指標（平成24年度実績：カルテ開示件数）

	日本海総合病院	酒田医療センター
平成24年度	49件	7件

(5) 医療安全対策の充実・強化

- ・インシデントレポートの収集、分析及びリスク回避の方策について検討し、院内研修会や定期的な院内広報の発行などにより周知し、患者安全管理体制の推進・強化に努める。

2 人員配置の弾力的運用

(1) 負担軽減

- ・医師の負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を活用する。

- ・看護師の負担軽減を図るため、看護補助者及び事務補助者を活用する。

(2) 障がい者雇用

- ・障害者雇用促進法に基づき、雇用率2.3%以上の確保に努め、障がい者の雇用促進及び職業安定に寄与し、その有効活用を行う。

(3) スタッフ職員制度

- ・優秀な人材の確保、勤労意欲の向上及び雇用の安定を図るため、正職員と臨時職員の間位置するスタッフ職員制度を創設し、希望する臨時職員の中から試験により登用する。

3 施設整備及び医療機器等の整備計画

(単位：百万円)

区 分	予 定 額	財 源
資本支出		設立団体からの
建設改良費	939	長期借入金等
医療機器整備	709	
その他（改修工事等）	230	

(1) 高度医療機器等の計画的な更新・整備

- ・高度専門医療等の充実のため、次のとおり高度医療機器の更新・整備を行う。
- ・高度医療機器の更新・整備に当たっては、医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して進めるものとする。
- ・医療安全、薬物療法の質の向上及び職員の負担軽減を図るため、注射薬自動払出装置を導入する。

<平成26年度の医療機器整備費>

(単位：百万円)

病 院 名	事業費	医療機器の名称（財源）
日本海総合病院	550	MRI、更新機器 等（長期借入金）
	159	注射薬自動払出装置 等 （繰越積立金を含む自己資金）
合 計	709	

(2) 建物総合診断

- ・日本海総合病院は、建築から20年が経過していることから、将来の大規模修繕を見据え、建物総合診断を行う。

4 患者数の見込みと予算・収支計画・資金計画

(1) 患者数の見込み

(単位：床、人、%)

		平成26年度			平成25年度 (当初予算ベース)		
		日本海	酒田	合計	日本海	酒田	合計
入院	病床数	646	114	760	646	114 (79)	760
	1日当たり	528.2	99.8	628.0	545.0	67.9	612.9
	病床利用率	81.8	87.6	-----	84.4	59.6 (86.0)	-----
外来	1日当たり	1,373.2	3.5	1,376.7	1,360.4	3.2	1,363.6

※ () 内は、運用病床数及びその病床利用率である。

(2) 予 算 (平成26年度)

(単位：百万円)

区分	日本海	酒田	合計
収入	19,459	1,064	20,523
営業収益	16,777	913	17,690
医業収益	16,192	895	17,087
運営費負担金	585	18	603
営業外収益	967	84	1,051
運営費負担金等	819	76	895
その他	148	8	156
臨時利益	2	0	2
資本収入	1,713	67	1,780
運営費負担金	1,008	67	1,075
長期借入金	678	0	678
その他(補助金等)	27	0	27
支出	18,548	1,137	19,685
営業費用	15,562	1,014	16,576
医業費用	15,392	1,014	16,406
給与費	8,057	646	8,703
材料費	4,516	29	4,545
経費	2,727	332	3,059
研究研修費	92	7	99
一般管理費	170	0	170
営業外費用	380	17	397
臨時損失	0	1	1
資本支出	2,606	105	2,711
建設改良費	939	0	939
長期借入金返還金	1,661	105	1,766
奨学金貸付	6	0	6

(注1) 建設改良費及び長期借入金等元金償還金に充当される運営費負担金等については、資本助成のための運営費負担金等とする。(以下、同じ)

(3) 収支計画（平成26年度）

（単位：百万円）

区分	日本海	酒田	合計
収入	17,724	996	18,720
営業収益	16,762	913	17,675
医業収益	16,161	894	17,055
運営費負担金収益	585	18	603
資産見返運営費負担金戻入	16	1	17
営業外収益	960	83	1,043
運営費負担金収益	819	76	895
その他医業収益	141	7	148
臨時利益	2	0	2
支出	17,531	1,180	18,711
営業費用	16,557	1,137	17,694
医業費用	16,398	1,137	17,535
一般管理費	159	0	159
営業外費用	963	41	1,004
臨時損失	11	2	13
純利益	193	▲184	9
目的積立金取崩額	0	0	0
総利益	193	▲184	9

(4) 資金計画 (平成26年度)

(単位：百万円)

区分	日本海	酒田	合計
資金収入	38,780	2,599	41,379
業務活動による収入	17,758	1,002	18,760
診療業務による収入	16,300	900	17,200
運営費負担金による収入	1,404	94	1,498
補助金等収入	34	0	34
その他の業務活動による収入	20	8	28
投資活動による収入	12,527	700	13,227
補助金等収入	27	0	27
有価証券の売却による収入	12,500	700	13,200
その他の投資活動による収入	0	0	0
財務活動による収入	1,686	67	1,753
長期借入による収入	678	0	678
金銭出資の受入による収入	1,008	67	1,075
その他の財務活動による収入	0	0	0
前年度からの繰越金	6,809	830	7,639
資金支出	30,547	1,809	32,356
業務活動による支出	15,939	1,004	16,943
人件費支出	8,165	646	8,811
材料費支出	4,505	2	4,507
その他の業務活動による支出	3,269	356	3,625
投資活動による支出	12,945	700	13,645
有形固定資産の取得による支出	939	0	939
有価証券の取得による支出	12,000	700	12,700
奨学金の貸付による支出	6	0	6
その他の投資活動による支出	0	0	0
財務活動による支出	1,663	105	1,768
長期借入の返済による支出	559	20	579
移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,102	85	1,187
その他の財務活動による支出	2	0	2
翌年度への繰越金	8,233	790	9,023

5 その他業務運営に関する事項

(1) 就労環境の整備

- ・「あきほ保育園」は、通年で24時間保育を行う。
- ・「あきほ保育園」は病児・病後児保育を継続し、職員の子育て支援を行う。

(2) 人間ドック・検診における連携

- ・公益財団法人やまがた健康推進機構と連携し、日本海総合病院において「人間ドック（PET検診含む）」の導入を図る。
- ・酒田地区医師会と連携し、地域の検診体制の強化を図る。

(3) 地球環境にやさしい病院づくり

- ・日本海総合病院において、既存棟の病室の蛍光灯を計画的にLED照明に交換する。

(4) 酒田市飛島診療所への支援

- ・日本海総合病院は、救急患者の対応等において飛島診療所を支援する。